

## 紫綬褒章 受章

### 宮本信子さんインタビュー

舞台、映画、テレビなどで活躍の女優・宮本信子さんは、愛知淑徳高等学校の第15回卒業生です。2014年、初舞台を踏まれた1964年から50年という節目に、紫綬褒章を受章されました。本学園として心よりお祝い申し上げますとともに、輝き続ける先輩の言葉を生徒・学生の皆さんにお届けします。

何事にも真剣に、  
一歩ずつ前へ。

初めていただいた役のセリフは3つ。そこから50年間女優の仕事一つひとつに全力を注いできました。失敗もあります。怠けた時もあります。けれども大体はまじめに一生懸命生きてきました、前を向いて…。そうした日々の積み重ねで今の自分がいます。私は、過去を振り返ることはあまり好きではありません。でも、紫綬褒章受章を機に、これまでの道を思い返しました。上京する夜行列車で、夢と不安を抱え「頑張るしかない」と自分に言い聞かせました。悲壮な気持ちでした。

愛知淑徳に在校中も、私は何事にも一生懸命。文化祭、体育祭などの行事に、みんなで燃えて

楽しかった！

中学では演劇

部、高校ではバス

ケットボール部の活動に励みました。クラス対抗の演劇では主役で張り合うライバルが他のクラスにいたせいもあり、さらに燃えてしまつて。(思い起こせば)とっても充実した学園生活でした。淑徳魂は、今もスラスラ言えます。校歌も…。いい学校で育つたとつくづく思います。

これからも変わらず、女優として一歩ずつ進んでいきたいと考えています。物事に真剣に向き合う経験のすべてが、自分を育てる栄養になりますから。

